OFA第24回　大阪府U-11チビリンピックサッカー大会　JA全農杯　大会規定

大会名	OFA第24回　大阪府U-11チビリンピックサッカー大会　JA全農杯
1主催	一般社団法人　大阪府サッカー協会
2主管	一般社団法人　大阪府サッカー協会　第4種委員会
3後援	日刊スポーツ新聞社
4特別協賛	全国農業協同組合連合会
5参加費	7000円×エントリーチーム数（当協会の主催する競技会への参加費は不課税取引として取扱いとなる）
6協力	モルテン株式会社　・　株式会社ミカサ
7日程	大会エントリー終了後から中央大会抽選日前日までに地区予選を実施
8会場	大阪府下全域とする。 地区代表による中央大会は4種委員会が用意した会場で実施する
9競技方法	地区予選はリーグ戦、トーナメント戦のいづれか。 中央大会は16チームによるトーナメント制
10競技時間	12分×3ピリオド（12分-1分-12分-5分-12分）
11.参加資格	5年生以下の選手で地区代表になった際、中央大会の日程に参加する義務を有する。
12コートサイズ	68m×50mを推奨する。ゴールの大きさは5m×2.15m（少年用サッカーゴール）とする。
13競技規則	大会規定に記載のないものは(公財）日本サッカー協会「8人制サッカー競技規則」最新版に準じ、これ以外の部分は、（公財）日本サッカー協会「サッカー競技規則」に準ずる。
14競技人数	8人（総入れ替え制実施）
15エントリー	エントリー方法（別紙参照　第4種委員会HPに掲載）　エントリーサイトの入力と大会参加費の振り込みを締切までに行うこと
16AEDの確認	各会場本部役員及び各会場提供責任者は、AEDの設置場所の確認に努める。
17中央大会日程	2026年2月14日(土)・2月15日(日)
18中央大会会場	4種委員会が用意した会場（J堺予定）
19中央参加費	1チームにつき5,000円を中央大会初日に徴収する。
20中央競技方法	トーナメント方式
21中央大会出場チーム	16チーム（8地区出場枠は各地区出場チーム数よって案分のうえ代表枠を決定。）
22中央大会 組み合わせ抽選	【抽選日】2026年1月26日（月）開催予定 会場:未定
23各大会への出場権	大阪府大会上位2チームは『JA全農杯チビリンピック小学生8人制サッカー関西大会』に出場する義務を負う。 関西大会出場権を獲得したチームは必ず大阪府大会メンバー(ベストメンバー)で出場する事。 関西大会の辞退は認められない。(他の大会、自チーム行事、遠征等が関西大会と重複した場合は必ず関西大会を優先する事。 関西大会出場に関し何等かの問題を生じさせたチームにはJFA諸規定に準じてOFA司法機関で最も重い懲罰を科す事とする。 懲罰を科されたチームはその懲罰を遵守する義務を有する。
24試合の成立	全てのピリオドで出場選手が6人に満たない場合、棄権とする。
25棄権（書類不備も含む）	「選手証」「メンバー表」「申送り書」などの書類不備が生じた場合や参加資格のない選手を出場させた場合などのスコアは0-99とする。 ただし、これにより得失点などで順位に影響を及ぼす場合、棄権チームとのスコアは全て削除する。審判不履行などの大会運営に重大な支障を きたしてしまった場合、その指導者のチームの試合を不戦敗（0-99）とする。またこの結果で順位に影響のある場合は上記の通りとする。
26インターバル（ピリオド間）	第1ピリオドと第2ピリオド間は選手総替えに要する時間のみとし、第2ピリオドと第3ピリオド間は5分以内とする。
27サイドの決定	第3ピリオドのサイドはコイントスで決定し、約半分が経過したところでサイドをチェンジする。タイミングは審判に委ね、キックオフからの開始とする。
28予選リーグ戦実施の場合	リーグ戦の順位は勝ち点→当該結果→当該得失点→当該多得点→得失点→多得点→抽選の順
29警告	大会期間中、警告の累積が2回になった選手・指導者は次の1試合に参加できない。地区予選での警告は中央大会に持ち越さない。
30退場	退場を命ぜられた選手・指導者は次の1試合に参加できない。その処分は規律委員会にて決定する。 また、試合中に負傷退場した場合、主審は別の選手を補充して8人にしてから試合再開しなければならない。（ただし、登録選手が16人の場合除く） 地区大会での退場は中央大会に持ち越さないが、悪質な反則による退場に関してはその限りではない。（1発レッド）
31メンバーチェック	試合開始30分前までに本部で【選手証】【メンバー表】【申し送り】のチェックを行う。【選手証】とは電子登録証カラーコピーであり、携帯電話などの画面での確認は不可とする。 選手証、メンバー表と当日の選手の並びは全て同じになるように揃えておくこと。ユニホームに広告がある場合はJFAからの「回答書」を持参しておくこと。
32選手証	提示のない場合、顔写真を貼っていない場合は出場を認めない。また、チームとして提示のない場合は棄権とする。 電子登録証カラーコピーを認め、携帯電話などの画面での確認は不可とする。
33背番号・胸番号	シャツの前面及び背面には、選手番号を必ず表示しなければならない。選手番号は、服地と明確に区別し得る色彩 （服地が縞柄等であって明確な識別が困難なときには、台地を付ける）かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
34ベンチ人数	チームベンチには指導者3名までと登録選手25名以下とする。
35審判	1人制で行う（主審・補助審判ともに有資格者が行うこと） 補助審判の役割はメンバーチェック、2ピリオドの選手チェック、交代選手のチェックなどとする。 新規及び昇級等で審判証が手元にない場合は、審判委員会の押印のある合格（証）通知と顔写真つきの本人確認できるものを提示する義務を負う。 審判団は、試合開始前にお互いが打ち合わせ等の準備に努める。本部役員・会場責任者も第4審に協力するものとする。 協会派遣の場合、及びアクティブ登録を行い指導を受けた審判員の主審を認める。通常のユース審判員の中央大会までの補助審判を認める。 正規の審判服を着用すること（アンダーシャツ・アンダーパンツは同色または黒のみ認める） 審判証（写真貼付済）の提示及び所定の位置にワッペンの貼付を義務とする。（カラー電子登録証を可とする。）
36ユニフォーム	FPは正・副2セット必要（副ユニフォームのビブスは認めない、正・副ともに背番号、胸番号が必要） ユニホームとはFPで番号以外は全く同じもの、GKで番号以外は全く同じもののこととする。（ただし、メーカーロゴの変更や移動のみの場合はその限りではない） GKは正・副ともにFPと別色の2セット必要（GKユニフォームのビブスは認めない、正・副ともに背番号、胸番号が必要） カーフソックスを使用する場合は下に履くソックスはカーフソックスと同色のものとする、または下に履くソックスが見えない状態とすること ベンチ選手、指導者はユニホームと同色のウェアは着用できない（別色のビブスや別色のウェアで対応すること） GKがFPとして出場する場合、又は、逆の場合の背番号は固有番号で有れば、必ずしも一致しなくともよい。（正副の番号は一致しなくてもよい） ただし、事前にメンバー表にそれぞれの背番号を記載しておくこと。 テーピング等をソックスの上に着用する場合は着用するソックスの部分と同色のみ認める
37アンダーシャツ	シャツの袖の下から見える場合袖の主たる色または裾と同色であること、また袖の主たる色と裾の色が別色の場合チームでどちらかを選び統一していることとする。
38アンダーショーツ	ショーツ下から見える場合ショーツの主たる色または裾と同色であること、またショーツの主たる色と裾の色が別色の場合チームでどちらかを選び統一していることとする。
39キックオフ	キックオフから直接相手側のゴールに入った場合は、相手側のゴールキックから再開する。
40テクニカルエリア	設置することができる
41競技者の交代手続	第1ピリオドと第2ピリオド間では選手を総替えとし、第3ピリオドは交代自由とする。 第1、第2ピリオドの交代は補助審判の許可を得て交代するが、第3ピリオドは自由な交代とする。 (FPの場合)交代によって退く選手は、交代ゾーンからフィールド外に出る。 フィールドに入る選手は、交代ゾーンからフィールドに入る。 インプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず交代でき、主審の承認は必要としない。 但し、総入れ替え制の為、第1、第2ピリオドの交代は予備審判のチェックを受け、第3ピリオドでの交代は予備審判の用具チェックのみ受けることとする。 （GKの場合）ボールがアウトオブプレーになった時、主審に通知し、主審の許可を得て交代を行う。 交代して退くゴールキーパーは、境界線の最も近い地点から競技のフィールドの外に出る。代わりに入るゴールキーパーは交代ゾーンからフィールドに入る。 ※FPもGKも負傷等により退く選手は、交代ゾーンからフィールド外に出る必要はない。
42.大会期間中の移籍	①選手個人のチーム移籍自体を制限しない。チームを移籍して1人の選手が移籍元と移籍先を併せて同一大会へ再度(2度以上)出場する事だけを承認出来ないものである。 ②移籍をした1人の選手が同一大会に移籍元と移籍先を併せて再度(2回以上)出場しない事が遵守されていれば規定違反ではない。選手移籍自体は制限しない。 ③移籍元のチームにおいて本大会に出場した者に関しては移籍先のチームにおいてその出場を認めない。選手移籍自体は制限しない。（複数エントリーチーム間も同様に1st2nd両方で出場することは出来ない） ④大会期間中に保護者転勤やその他理由での転居などの止む負えない理由での選手移籍は審議した結果、4種委員長が状況を確認し承認した後で出場出来る。 ⑤状況に応じた審議の結果で、転居であっても認められない場合もある。
43負傷者	負傷者については各チームで処置等を施すこととする。主催者及び主管者は一切の責任を負わない。
44大会規律委員会	本大会においては、JFA「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設ける。会場責任者の指示に従わない場合。駐車制限、喫煙、ゴミの不始末、施設破損等の問題があった場合。 大会規定違反があった場合。予期せぬ問題が発生した場合。この場合、大会規律委員会にて対応方法を検討決定し、その対象チームは対応方法決定事項を遵守しなければならない。 なお、当該チームの保護者の行為も含まれるので、その啓発及び周知徹底の義務を有する。第4種委員会「観戦&応援ルール」を遵守する義務を有する。 「観戦&応援ルール」
45延長戦	実施しない。
46PK方式	3人制で行う。両チームの得点が同じ場合は、同数のキックで一方のチームが他方より多く得点するまで、順序を変えることなく交互にキックは続けるものとする。
47複数エントリー	複数エントリーの場合、1st2nd各チーム内に大会に参加出来る最高学年が10人以上いることとする。 また、その他の学年は最大6名まで入れることが出来る。 地区大会の抽選を行うまでにメンバー表の提出をする。提出方法は複数エントリーチーム用メンバー表を参照する。
48落雷、荒天等による再試合	①落雷、荒天や選手の怪我などの場合運営側は人命最優先とし、それらにより試合続行が困難な場合は試合を不成立とし、その判断は会場責任者が行う。 ②参加チームは会場責任者の判断に従うこと。試合中に中断した場合は再試合とする。 ③残り時間を再試合として実施する。再試合時は中断した場所がインプレーであればセンターサークルからドロップボール、 アウトオブプレーの場合はその場所から再開する。再試合時の審判、出場選手は中断時と同一になる様に調整する。 ④中断期間中に別の試合で出場停止処分を受けた場合でも、再試合には出場できる。 サッカー活動中の 落雷事故防止 について
49肖像権	一般社団法人大阪府サッカー協会に認められた提携写真事業者によって撮影された写真が「参加者向け写真販売サービス（ウェブサイトを通じた通信販売を含む）」を行うことがある。 一般社団法人大阪府サッカー協会又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された映像が、中継・録画放映及びインターネットによって配信されることがある。 また、DVD 等に編集され、販売・配付されることがある。 これらの肖像権に関する事項は大会参加申込として大会エントリーをした時点で、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する
50撮影機器の使用	各会場の指示に従うこと。（鶴見人工芝はスタンド、J堺、万博FA、四条畷FAはフェンスの外）　ベンチを含むテクニカルエリア内での集合写真や試合中の撮影は認められない
51その他	①中央大会日程のパス日は出来ないこととする。ベンチ入りスタッフは小学生年代の指導者として相応しい服装・態度であること。 ②テクニカルエリア内でのテントの使用は認めるが、傘の使用は認めない。大会参加チームは必ずスポーツ傷害保険に加入していることとする。 ③提供会場の時間に余裕があるときは大会参加チームによる交流戦を実施することも出来るが施設管理者の指示や本部役員の指示が優先されるのでその指示に従う。 ④本レギュレーションは適宜改訂、改善をしていくものとする。 ⑤補聴器等の装具を着用しての試合出場について当該選手・大会主催者・審判団・対戦相手チームの四者間にて四者全員が着用について事前に同意した事とする。 事後に異議を表明する事を禁じる。 補聴器等の装具 を着用しての 試合出場について